

KANMAKI TOWN
Comprehensive plan

第3部

総合戦略

「地方創生・人口減少対策プロジェクト」

COMPREHENSIVE STRATEGY

はじめに

総務省の発表によると、わが国は2019年(令和元年)までの10年間、連続して人口は減少しており、もはや「人口減少社会」に突入して久しく、今後もわが国の人口は減少し続ける予想となっています。また、地方の人口減少と少子高齢化は着実に進行する一方で、東京等、首都圏や一部の大都市では人口が増加する等、大都市と地方における経済格差に加え人口格差も問題となってきています。

そこで、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたり活力ある地域を維持していくことを目的に、国において、「まち・ひと・しごと創生法(2014年(平成26年)法律第136号)」が制定され、人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が2014年(平成26年)12月に策定されました。

また、国のこうした枠組みや「まち・ひと・しごと創生法」の趣旨を踏まえ、少子高齢化と人口減少という危機感を共有しながら、地方公共団体においても「地方人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、全国的に取組が進められるようになりました。

このような流れの中、継続は力なりという姿勢を基本に、国は2019年(令和元年)12月20日に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)」及び「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、それまでの5年間で進められてきた施策の検証を行い、地方創生の目指すべき将来や5か年にわたる計画期間における目標や施策の方向性等を定めました。

上牧町においては、2016年(平成28年)3月に「第1期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、2020年(令和2年)3月に計画期間を2年間延長する改訂を行い、上牧町の地域特性や実情に応じた人口減少対策と、効果的で持続可能なまちづくりに向けて取り組んできました。

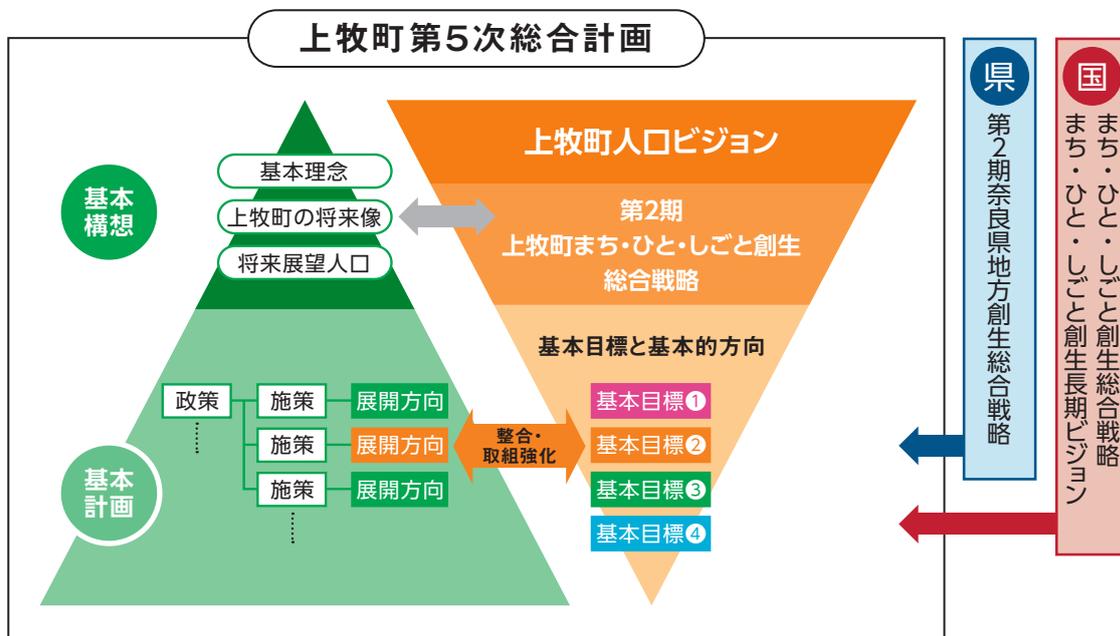
このたび、現行総合戦略の期間が2021年度(令和3年度)で終了することに伴い、これまでの取組を継続的な力とするために、現行総合戦略で進められてきた施策や事業の検証を行い、上牧町の目指すべき将来像と今後の目標や施策の方向性等を検討・精査しました。そして、上牧町の最上位計画である総合計画との整合性を図るとともに、より実効性のあるまちづくりを展開するために、後期基本計画の策定を機に、総合計画と人口減少に対応する具体的な取組をまとめた「第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第2期総合戦略」という。)」を統合し、あわせて、第2期総合戦略については、総合計画の取組をより一層強化するプロジェクトとして位置づけて策定することとしました。

第2期総合戦略の策定にあわせて、今後実施する施策や事業及びKPI(Key Performance Indicator: 重要業績評価指標)等の客観的な評価数値等を改めて設定することにより、社会情勢に合致した効果的で実効性のある計画とすることとします。

(1) 策定の趣旨

第2期総合戦略は、国や奈良県が示す総合戦略を勘案したうえで、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「地方版総合戦略」として、第1期に掲げた4つの基本目標を引き継ぐとともに、少子高齢化の進展や進学・就職期における人口流出、空き家問題、新たな魅力創出といった難題ともしっかりと向き合い、将来にわたり持続可能なまちづくりを目指し、その目標を達成するための手段を明確に示すために策定するものです。

総合計画においては、「ほほ笑いあふれる 和のまちづくり」を将来像として取組を引き続き推進していきますが、第2期総合戦略については総合計画と統合するとともに、総合計画の取組をより一層強化するプロジェクトとして位置づけ、整合性を図りながら各施策や取組内容を総合的かつ計画的に展開していきます。



<図 上牧町第5次総合計画と第2期総合戦略の関係イメージ(再掲)>

地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き

(2019年(令和元年)12月内閣府地方創生推進室)より抜粋

6. 総合計画等との関係

6-1 総合計画等と地方版総合戦略との関係

地方版総合戦略は人口減少克服・地方創生を目的としていますが、いわゆる総合計画等は、各地方公共団体の総合的な振興・発展等を目的としたものであり、両者の目的や、含まれる政策の範囲は必ずしも同じではありません。また、地方版総合戦略においては数値目標や重要業績評価指標(KPI)を設定することとなっていますが、こうした手法は、総合計画等においては義務付けられたものではありません。

これらの理由から、地方版総合戦略は、地方版総合戦略として策定することが必要です。ただし、総合計画等を見直す際に、見直し後の総合計画等において人口減少克服・地方創生という目的が明確であり、数値目標や重要業績評価指標(KPI)が設定されるなど、地方版総合戦略としての内容を備えているような場合には、総合計画等と総合戦略を一つのものとして策定することは可能です。

なお、その場合であっても、法第9条及び第10条の規定により、都道府県の地方版総合戦略は国の総合戦略を勘案して、市区町村の地方版総合戦略は国の総合戦略及び都道府県の地方版総合戦略を勘案して、それぞれ定めるよう努めなければならないことにご留意ください。

(2) 計画期間

上牧町の最上位計画である総合計画と整合性を図り、足並みを揃えて人口減少等の諸問題に取り組むため、総合計画の後期基本計画の目標年度にあわせて、2026年度(令和8年度)までとします。

(3) 計画の目標と方向性

現行の上牧町人口ビジョンで示されているとおり、「高齢化の急速な進展」、「生産年齢人口の減少」、「さらなる少子化の進展」、「進学・就職による若者の転出増加」、「人口構造変化に伴う地域力の低下」といった課題や町民の意識・希望への対応、さらには将来展望人口(2060年(令和42年):18,000人)を達成するために、次に掲げる4つの基本目標、8つの基本的方向に基づき、第2期総合戦略を展開します。

(4) 計画の推進体制

「上牧町まちづくり基本条例」に規定された町民との「参画協働」及びそれらの前提となる「情報の共有」の基本原則のもとに、地域の担い手である町民をはじめ、地域団体組織やNPO組織、民間事業者等、多様な主体と行政との協働により取り組みます。

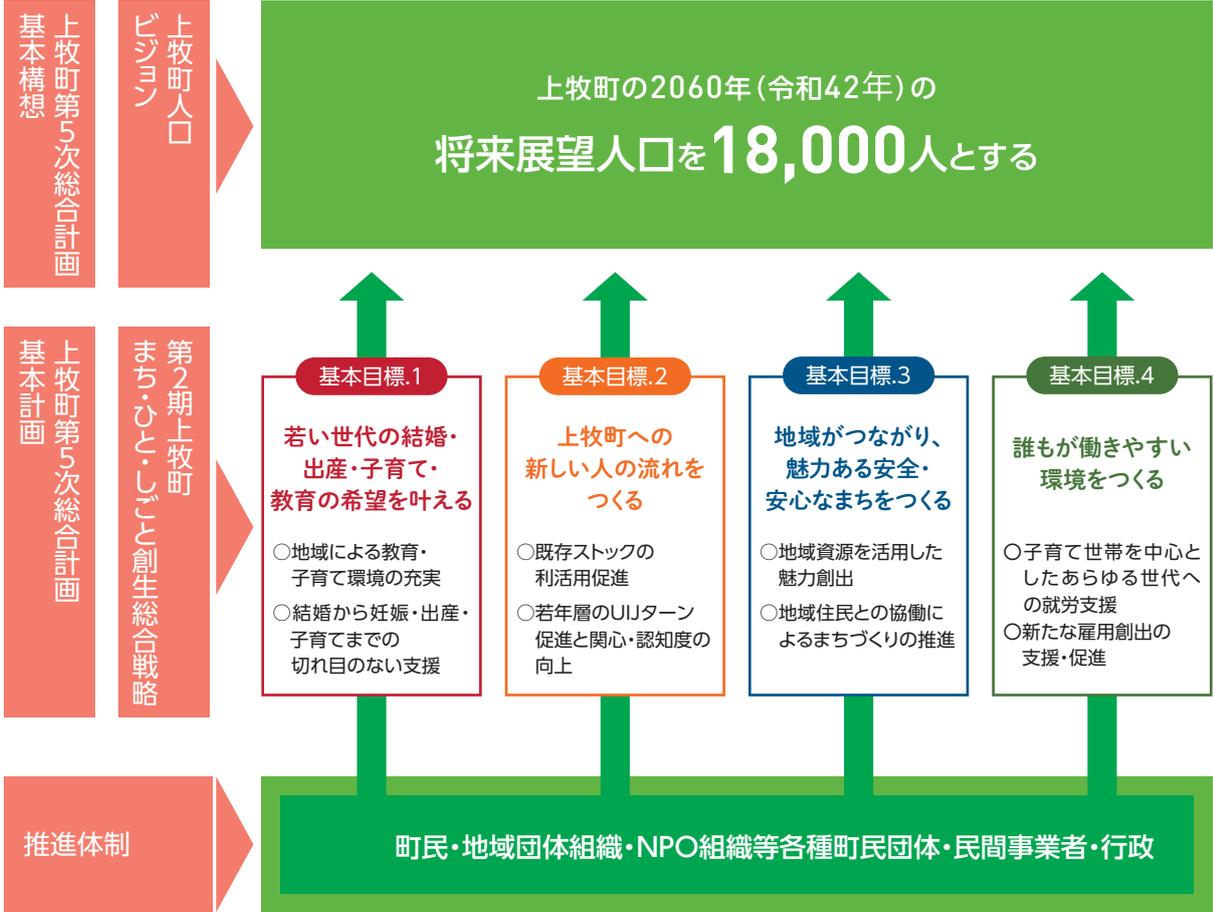
また、行政においては、国の方針を踏まえるとともに、県との縦断的な連携も積極的に取り組み、教育、福祉、まちづくり、保健福祉等、様々な分野において全庁的に相互連携を図りながら計画を推進します。

(5) 計画の進捗管理

基本目標の達成に向けて、実行する施策の実施状況を数値化したKPI(重要業績評価指標)の目標値を設定し、進捗を管理することとします。このKPIの達成度合について、毎年1回、達成度の検証を行い、PDCA(計画策定(Plan)・推進(Do)・評価(Check)・改善(Action))サイクルの確立を通じて、各施策や取組の改善を図ります。

なお、評価の基となるKPIについては、担当課及び事務局が毎年の進捗状況を把握するだけでなく、外部有識者等を含む検証機関を設置し、達成度等の評価、検証を行います。

<第2期総合戦略の施策体系イメージ>



第Ⅱ章

基本目標

第2期総合戦略における施策は以下のとおりです。

基本目標.1

基本目標と基本的方向 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える

地域による教育・子育て環境の充実

結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 子どもの学習向上支援② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト③ 地域ぐるみの子育て支援④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実⑤ 多様な学びの場における支援⑥ 青少年の健全な育成⑦ グローバル人材の育成 | <ul style="list-style-type: none">① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援② 子育ての希望を叶えるための支援 |
|---|--|

基本目標.2

基本目標と基本的方向 上牧町への新しい人の流れをつくる

既存ストックの利活用促進

若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上

施策

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 空き家活用プロジェクト② UR住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進 | <ul style="list-style-type: none">① 公共交通の利便性の向上② 関係人口・交流人口の創出 |
|--|--|

基本目標.3

基本目標と基本的方向 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる

地域資源を活用した魅力創出

地域住民との協働によるまちづくりの推進

施策

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 公共施設の相互利用② 地域資源の整備 | <ul style="list-style-type: none">① 地域活動の支援・促進② 防災・防犯活動の支援・促進 |
|---|--|

基本目標.4

基本目標と基本的方向 誰もが働きやすい環境をつくる

子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援

新たな雇用創出の支援・促進

施策

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">① ハローワークや町内事業者と連携した就職支援② 子育てしながら安心して働ける環境の整備 | <ul style="list-style-type: none">① 地域産業の活性化と担い手の育成 |
|---|---|

施策一覧(概要)

基本目標	基本的方向	施策	説明
若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	地域による教育・子育て環境の充実	①子どもの学習向上支援	子どもたちの学習習慣の体得、学習意欲の醸成、家庭教育の重要性の周知、教育環境の整備に取り組みます。
		②子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	学校を中心とした全町的な地域コミュニティ網の形成に取り組むとともに、道徳教育や福祉教育、人権教育の充実を図り、社会の一員として生活する基盤を育みます。
		③地域ぐるみの子育て支援	情報交換拠点の整備や保育環境の改善に取り組み、町独自の安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整備します。
		④就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実	乳幼児の教育・保育にふさわしい環境を整えるとともに、子どもの発達に応じた適切な指導を通じて、質の高い乳幼児教育・保育サービスの提供に取り組みます。
		⑤多様な学びの場における支援	域内すべての子ども一人ひとりの教育的ニーズに応えるため、各年齢に合わせた学びの場を提供します。
		⑥青少年の健全な育成	野外活動教室や専門講座、キャリア教育等の実施を通じて、社会で活躍できる人材の育成に取り組みます。
		⑦グローバル人材の育成	豊かな語学力・コミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解を身につけたグローバル人材を育成します。
	結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	①結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援	安心して子どもを産み育てられるよう、結婚・出産・子育てまで、切れ目のない支援サービスの充実を図るとともに、若者世代の出会いの機会の創出に取り組みます。
		②子育ての希望を叶えるための支援	子育てにおける不安・悩み・ストレスを抱える若い世代に寄り添い、精神的負担を軽減・解消できるように支援します。
上牧町への新しい人の流れをつくる	既存ストックの利活用促進	①空き家活用プロジェクト	空き家の流通促進や“地域資源”として利活用に取り組み、地域課題の解決や移住・定住の促進につなげます。
		②UR住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進	入居者の減少や高齢化が進展しているUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。
	若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上	①公共交通の利便性の向上	今後も継続的に公共交通の利便性向上に努めるとともに、利用促進に取り組みます。
		②関係人口・交流人口の創出	持続可能な循環型社会の実現に向けて、交流人口の拡大とともに、関係人口の拡大に向けた取組を推進します。
地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	地域資源を活用した魅力創出	①公共施設の相互利用	より魅力的なまちづくりを進めていくことを目的に、近隣自治体との公共施設の相互利用に取り組みます。
		②地域資源の整備	町内に点在する地域資源の保全や魅力向上に取り組むとともに、地域資源の整備を通じた、町民のシビックプライドの醸成や生きがい・居場所づくり等、内部要因となる地域活性を図ります。
	地域住民との協働によるまちづくりの推進	①地域活動の支援・促進	既存の地域活動・NPO活動の支援や、新規団体の立ち上げ支援、町民の地域活動への参加機会の創出を図るとともに、町内在住の技術者・能力者の発掘、活用を促進します。
		②防災・防犯活動の支援・促進	自治会の防災活動を支援するとともに、関係機関、関係団体、地域、企業等と連携を強化、防災教育や次世代の担い手育成に取り組み、防災・減災体制の充実を図ります。
誰もが働きたい環境をつくる	子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	①ハローワークや町内事業者と連携した就職支援	ハローワークと連携し、就職情報の発信、就職準備セミナーの開催、町内事業者とのマッチング支援など、上牧町で暮らし働く環境の提供に努めます。
		②子育てしながら安心して働ける環境の整備	共働きする子育て世帯への支援の充実や環境を整えることにより、良好なワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。
	新たな雇用創出の支援・促進	①地域産業の活性化と担い手の育成	地域が協働して農を支える仕組みを構築し、新規就農者の育成・確保や経営安定化、農産物の高付加価値化を図るとともに、商業施設や地域イベントでの地域農産物の販売、地域資源を活用した新たな特産品の開発を進めます。

基本目標.1

若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える

上牧町では近年、出生数・出生率の低下に伴う人口減少と高齢化が進行していますが、このような現状に歯止めをかけるためにも、若者や子育て世帯が結婚・出産・子育ての希望を叶える環境整備が急務となっています。

若者や子育て世帯の多様化するライフスタイル(暮らし方、働き方等)にあわせた様々な支援を実施するとともに、地域と行政の協働による教育・子育て体制を整え、安心して結婚・出産・子育てができる体制の構築に努めます。



1-1 地域による教育・子育て環境の充実

地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド*1、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。

あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。

① 子どもの学習向上支援

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
ICTを活用した教育支援	教育総務課	教員向け研修開催回数(年間)	2回	2回	5-4-① P93
学習支援教室(まきっ子塾)の開催	社会教育課	「まきっ子塾」参加児童満足度	-	80%	5-4-② P93

② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
学校を中心とした地域コミュニティ網の形成	社会教育課/ 教育総務課	コミュニティ・スクール制度導入に向けた検討会議の開催数(年間)	4回	5回	1-3-⑥ P31
学校支援事業の運営	社会教育課	学校支援ボランティア登録者数(年間)	238人	250人	1-3-⑥ P31 5-1-③ P87
学校・家庭・地域の連携による人権教育の推進	社会教育課	ヒューマンライツセミナー新規受講者数(累計)	-	50人	5-3-① P91
学校と連携した読書活動の推進	文化振興課	図書館の団体貸出を行う学校数(年間)	1校	5校	5-1-④ P87

③ 地域ぐるみの子育て支援

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
情報交換拠点の充実	こども未来課	情報交換拠点(つどいの広場・おひさま広場)の利用者満足度	-	80%	2-4-③ P51
預かり保育事業の実施	こども未来課	預かり保育の延べ利用者数(年間)	797人	1,100人	2-4-② P51

④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
就学前の学習環境の充実	教育総務課	幼稚園児と小学校児童との交流回数(年間)	-	3回	5-5-① P95
特色ある乳幼児教室の開催	こども未来課	乳幼児教室開催数(年間)	36回	36回	4-3-① P81

⑤ 多様な学びの場における支援

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
通級指導教室(ベガサス教室)の充実	教育総務課	通級指導教員数	4人	5人	5-4-③ P93
ほほ笑い教室の開催	生き活き対策課	ほほ笑い教室利用者満足度(5段階評価)	4.7	4以上	2-1-④ P45

⑥ 青少年の健全な育成

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
様々な専門講座の開催	社会教育課	専門講座開催回数(年間)	6回	6回	5-4-② P93
青少年の生涯学習機会の確保と次世代の育成	社会教育課	ジュニアリーダー研修新規登録者数(年間)	-	10人	5-1-② P87
キャリア教育及び職業教育の実施	教育総務課	県内企業や地域との交流活動回数(年間)	2回	3回	5-4-④ P93

⑦ グローバル人材の育成

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
国際交流事業(世界に伍して活躍するグローバル人材の育成事業)の推進	教育総務課	国際交流事業実施回数(累計)	-	5回	5-4-⑤ P93

1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援

近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てられることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。

① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
出会い・結婚応援事業の実施	こども未来課	出会い結婚応援事業による成婚者数(累計)	4組	15組	2-4-① P51
プレパパママ教室の開催	こども未来課	プレパパママ教室参加割合	31.5%	30%	2-4-① P51
不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発	生き活き対策課	不妊・不育症治療助成事業認知度(よく知っている、名前だけ知っている人の割合)	53.6%	100%	2-2-③ P47

② 子育ての希望を叶えるための支援

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
乳幼児健診受診の促進	生き活き対策課	乳児健診受診率	95.5%	100%	2-1-① P45
		幼児健診受診率	89.7%	100%	
子育て世代への訪問型個別支援の拡充	こども未来課	赤ちゃん訪問実施率	98%	100%	2-4-① P51
子育て支援の充実	こども未来課	子育て支援セミナー参加延べ人数(年間)	-	40人	4-3-① P81

用語解説

※1 「シビックプライド」 町民が自分の住んでいる、働いている町に対して「誇り」や「愛着」を持って、自らもこの町を形成している一員であるという認識を持つこと。

上牧町への新しい人の流れをつくる

転入促進を図るため、良好な住環境の維持・充実と受け皿となる住宅の確保、公共交通の利便性を向上させ、転入世帯が住みやすい環境を整備することが必要です。

移住・定住のための既存ストックを生かした住宅供給や西大和片岡台にあるUR住宅を核とした地域の魅力向上、町周辺の鉄道駅へのアクセスの向上、普段の生活の利便性向上のための町内コミュニティバスの運行等、町民がいつまでも住み続けることができ、若者世帯にも魅力を感じられるまちづくりを推進することで、転入数の増加につなげます。



2-1 既存ストックの利活用促進

町内の既存住宅を地域の実情に即した活用により魅力ある環境づくりや住宅(多様な住まい、住まい方)供給を推進するとともに、生活利便性の向上に取り組み、若者に選ばれ、いつまでも住み続けられる住環境を整備します。

① 空き家活用プロジェクト

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
空き家利活用の推進	まちづくり推進課	空き家・空き地バンク登録件数(累計)	4件	15件	3-3-① P67

② UR住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
UR都市機構等関係者との協議	企画財政課	UR都市機構等関係者とのまちづくりに関する意見交換回数(年間)	3回	4回	3-3-① P67

2-2 若年層のUIJ^{*1}ターン促進と関心・認知度の向上

少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見ずえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。

① 公共交通の利便性向上

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
上牧町地域公共交通会議の開催	まちづくり推進課	上牧町地域公共交通会議開催数(年間)	0回	2回	3-1-② P63
コミュニティバスの利用促進	総務課	コミュニティバス延べ利用者数(年間)	42,699人	60,000人	3-1-② P63

② 関係人口^{*2}・交流人口の創出

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
観光プログラムの企画・周知・運営	まちづくり推進課	観光イベントの実施・参加回数(年間)	0回	2回	4-4-① P83
イベント等におけるふるさと帰帰・移住促進PR活動の実施	企画財政課	プロモーション活動・媒体の認知度	50.6%	60%	1-3-⑦ P31 1-4-② P33 4-4-① P83
大学や企業との連携によるブランディングの推進	企画財政課	ホームページへのアクセス数(年間)	287,870件	500,000件	1-4-② P33
移住支援金事業	企画財政課	移住支援金申請件数(年間)	0件	1件	4-3-② P81
SNSを活用した情報発信と企画の実施	企画財政課	SNSの延べフォロワー数	約2,500人	5,500人	1-4-① P33 4-4-① P83

用語解説

※1 「UIJターン」

大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地近くの地方都市に移住する形態を指す。

※2 「関係人口」

関係人口とは、移住した“定住人口”でもなく観光に来た“交流人口”でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。

基本目標.3

地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる

人口減少を食い止め、転入者や定住者を増やすためには、上牧町が持つ潜在的な魅力を最大限発揮できる環境づくりが必要です。

広域連携や地域資源を活用し、地域活動・NPO活動や住民活躍の場の創出に取り組むことにより、地域力を向上させ、魅力ある安全・安心なまちづくりを進めます。



3-1 地域資源を活用した魅力創出

住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。

① 公共施設の相互利用

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
公共施設広域連携検討会の開催	総務課	公共施設の満足度	14.7%	35.0%	1-6-② P37

② 地域資源の整備

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進	社会教育課	史跡上牧久渡古墳群の整備	用地買収100 整備40	整備完了	5-6-① P97
かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業	まちづくり推進課	かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率	47%	100%	3-6-④ P73 4-4-② P83

3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進

上牧町では2014年(平成26年)4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。

① 地域活動の支援・促進

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進	企画財政課	上牧町まちづくり人材バンク登録者の活用人数(年間)	7人	20人	1-3-③ P31
		上牧町まちづくり人材バンクの登録者数	30人	45人	
地域活動団体の設立及び活動支援	企画財政課	新規地域活動団体年間設立数(累計)	0団体	20団体	1-3-② P31
上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用推進	企画財政課	上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請団体数(年間)	3件	7件	1-3-⑤ P31
歴史ガイドボランティアの養成	社会教育課	歴史ガイドボランティアの養成人数(目標年度終了時点)	18人	30人	5-6-① P97

② 防災・防犯活動の支援・促進

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携	総務課	地域防災訓練の支援回数(年間)	—	3回	1-7-① P39
		広域防災訓練開催に向けた検討会議の開催数(年間)	—	1回	
子ども防災意識の向上	総務課	子ども防災意識の向上教室の開催数(年間)	—	1回	1-7-① P39
防犯活動の支援	総務課	防犯カメラ設置台数	24台	36台	1-8-④ P41

基本目標.4

誰もが働きやすい環境をつくる

雇用環境の乏しい上牧町では、特に若者世帯を中心とした住民に対して、勤務地や就労の形態によらず、上牧町に住みながら働ける環境づくりが求められています。

就職情報の発信やテレワーク事業の推進、地域産業の活性化による町内での新たな雇用創出など、多様な就労への支援を行うことで、ベッドタウンとしての魅力だけでなく、働きやすいまちとしての魅力を高められるよう取組を進めます。



4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援

共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。

① ハローワークや町内事業者と連携した就職支援

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
就職準備セミナーの開催	企画財政課	就職支援セミナー等への参加者数(年間)	15人	30人	4-3-② P81
町内事業者とのマッチング支援	企画財政課	マッチングイベント等参加事業所数(年間)	1事業所	3事業所	4-3-② P81

② 子育てしながら安心して働ける環境の整備

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
子育てと就労の両立支援	こども未来課	病児・病後児保育施設登録者数	77人	120人	4-3-① P81
子育てママ就業支援事業の実施	企画財政課	子育てママ就業支援施設での延べ雇用者数(年間)	26人	50人	4-3-③ P81
		子育てママ就業支援施設稼働率(年間)	53.9%	70%	

4-2 新たな雇用創出の支援・促進

地域資源を生かした商品開発を支援し、新たな魅力づくりを促進することで、地域産業の活性化を図るとともに、関係機関と連携しながら、販路の確保や事業者育成に取り組み、新たな仕事や雇用の創出を促進します。

また、農業においても、生産性の向上や経営の安定化を支援し、農産物の高付加価値化を進めるとともに、多様な担い手の育成・確保を図ります。

① 地域産業の活性化と担い手の育成

取組内容	担当課	KPI	基準値 (R2)	目標値 (R8)	関連基本計画
就農支援(担い手育成)と農産物の販路確保支援	まちづくり推進課	新規就農者数(年間)	—	1人	4-1-② P77
地域資源を活用した商品開発と販路確保支援	まちづくり推進課	新たな地域農産物(累計)	—	2品目	4-2-② P79

